

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	31	学校名	清水東高等学校	記載者	山田 竜二
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	いじめの根絶	<ul style="list-style-type: none"> いじめに対するトラブルの事前防止 いじめへの対処の確実な実施 ネットに関するトラブル：0件 「誰に対しても相手の気持ちを大切に接している」と答える生徒の割合：95% 	B	A	<p>○生徒指導面では、難しい「いじめ問題」について、学校が一丸となって根気よく対応していることがすばらしい。</p> <p>○熱中症については、無理をさせない指導が定着しているようで安心できる。熱中症や感染症対策などでは、生徒の健康安全を最優先としながらも、体力向上とのバランスを考えて指導してほしい。</p> <p>○ちょっとした行き違いやそれから生ずる誤解などはよくあるケースで、そのほとんどが大した問題ではないように思われる。しかし、喫煙者の権利よりも嫌煙者の権利が優先されるがごとく、自由な表現も受け取る側の心情が優先されるべきだ。それは明るみになる方が健全で、いじめだと感じて我慢しておれば、いじめはなかったことになってしまう。相手の立場、側立ってみることが最重要だ。</p> <p>○自転車のヘルメット使用者数について、会議の席上数名程度であることを聞いたが、もっと増やせないであろうか。生徒の身の安全を守ることは、登下校中においては、学校は何の関りも持てないのだから。校舎内に入って美化運動、環境の保全に対する生徒の意識の高さに気づかされる。同時にその生徒たちを指導する教職員の方々の意識の高さにも。水害時のボランティア活動に参加された生徒諸君の行動もうなずける。静岡市のゴミの分別は、関東からきた人に言わせると、まだ緩いようだが、この先まもなくもっと細かく分別されるようになる。その時は地域を指導できるようになってほしい。</p> <p>○いじめへの対処は難しいと思うが、何より表面化して対応する事ができていること自体が評価に値すると思う。下手に水面下に押しとどめず誠実に対応することが将来的な発生の防止につながるかと思う。</p> <p>○授業中の事故0が大きな成果である。</p> <p>○登下校の事故防止・注意喚起は継続してほしい。</p> <p>○工事が継続していることから環境整備が難しいとは思いますが、全面的にリニューアルした校舎を誇りを持って維持してほしい。</p> <p>○コロナは未だ取束せず、「with コロナ」の生活が続いているが、LongCovidの実態の周知など感染症対策の徹底をお願いしたい。</p> <p>○自転車については、一層責任ある利用が求められていると思う。交通ルールの順守、マナーについて引き続き指導をお願いしたい。</p>
	授業中、部活動中、登下校中(特に自転車)の事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の事故0件 登下校時の自転車事故件数2割減 職員対象のAED講習会の実施 校内活動中に熱中症重症者を出さない。 保健だよりの毎月発行 	A		
	防災対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 一斉メールによる防災連絡（緊急連絡）訓練の実施 防災訓練を年2回実施 	B		
	校内の美化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「ごみの分別・削減・環境を守る行動をしている」と答える生徒の割合:85% 	A		
	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 「毎日の健康観察や手洗い・手指消毒・換気を行っている」と答える生徒の割合：85% 	A		

様式第 5 号

イ	100 周年記念事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・担当教員を配置し、100 周年委員会との連絡を密に行い、各機関と学校の連携を強める。 	A	A	<p>○100 周年記念行事が盛大に行われ、歴史に残る一年になったと思う。ここ数年の準備を含め、労をねぎらいたい。</p> <p>○100 周年記念事業式典にお招きいただき感謝申し上げます。内田選手へのインタビューで出張された渡辺先生の労もねぎらいたい。また、全く存じ上げなかった芸大出身の鈴木さんのピアノ演奏にも感動した。</p> <p>○実施の労をねぎらいたい。関係者の努力の賜物だ。参加出来ず残念だった。</p> <p>○100 周年記念事業が盛大に催され感謝申し上げます。</p>
ウ	制服の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・女子のスラックスを導入する。 ・生徒募集につながる新制服のイメージ作成 	A	A	<p>○時代に合わせた改定を考えていただき感謝申し上げます。</p> <p>○時流から女子のスラックス導入の話も出てきたのだけれど、もうそろそろ本時流から制服を廃止したらどうだろうか。私が学生時代、都立高の何校かは確か制服がなかった。「制服がないことを誇りにしよう」という標語と共に。</p> <p>○スラックスの導入は素晴らしいと思う。新制服を楽しみにしている。</p> <p>○今後の 100 年を見据えた、機能性も優れた制服を検討してほしい。</p>
エ	BYODによるICTを活用した授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用を目指す。 ・研修会を 5 回以上実施する。 	A	A	<p>○積極的に ICT が導入されており、学校の PR にも力を入れている様子がわかった。</p> <p>○ICT の活用、BYOD の運用は時代の必須である。小学生でも授業でよく使われており、流暢にキーボード操作をする児童もいる。新任教員の研修に力を入れられておるようだが、若い人は問題ないだろうが、むしろ年配者の方々の研修が必要かもしれない。</p> <p>○デジタルデバイスの活用が進んでいることは先生方の日頃の努力の結果といえると思う。</p> <p>○Web ページの充実も成果と言えるが、スタイルの更新も検討してほしい。</p> <p>○授業改善が着実に進められ、成果を挙げていて素晴らしいと思う。魅力ある授業づくりに今後も取り組んでほしい。</p>
	HP、広報活動による本校にふさわしい優秀な生徒募集の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動、SSH、学校行事、部活動等の記事を週 1 回のペースで更新する。 	A		

オ	<p>主体的、対話的で深い学び、アクティブラーニングの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が講義形式に依らない授業展開の工夫を実践する。(各自学期に 1 回以上) ・「課題の設定時間が適切である」と答える教員の割合：80% ・年間 2 回以上、校内外の他の教員の授業を見学した教員の割合：70% 	A	A	
	<p>4 校合同研修会の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 教科以上の参加教員による研修内容を各教科・分掌で共有する。 	B		

○教師の資質向上が計画的になされていることがわかった。これからも生徒が力をつけることにつながる研修を期待する。

○全教員の授業展開の工夫の実践は、生徒の側からも好意的に受け取られるであろうし、教授というものの多様さの面からも極めて好ましいものであると思う。できればその回数を少しずつでも増やしていってほしい。また、年間 2 回以上、校内外の他の教員お授業を見学した教員の割合が 70%ということだが、大事なことはそのあとの総括をどのようにされているかだと思う。相手の存在を尊重し、敬意をもって「先生」と呼び合う集団は、ややもすると互いの良い批評をし合うことが後回しになり、教育現場という組織そのものの活力を失わせることにもなりかねないからである。

○アンケートの「授業の内容が良くわかる」「授業のレベルに満足している」「グループ学習」の回答を見れば生徒が授業を楽しんでいる事が良くわかる。先生方の日頃の努力が伺える。

○アクティブラーニングは評価が難しいとは思いますが、先生方のアンケートから不断の努力が見て取れ、頼もしく思った。

○先生方が研修に積極的に取り組み、自ら学ぶ姿に感銘を受けた。先生方の努力が生徒達の力になっていると思う。感謝申し上げます。

様式第5号

カ	SSH新制度の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・新制度指定を受けた先進校への視察 ・収集した情報を反映したプログラムの完成 ・先導的改革型及び認定枠指定校の教育課程を参考に、教育課程の研究を行う。 	A	A	<p>○これまでの蓄積の上に現在の指導体系が形成されていることを伺った。今後ますますSSHが発展していくことを期待する。</p> <p>○清高探究メソッドの開発、国立遺伝学研究所への訪問など、大変意欲的に活動されている由、科学立国日本の将来を担う人材の育成に積極的であることがわかる。不思議実験講座の普及に力を注がれているとのこと、実に素晴らしいことだと思う。小学校の教員にも声をかけていただきたいような気がしています。先日テレビで、ホワイトボードにサインペンで描かれた図が、ボードを水槽に入れると浮き上がってきた光景に子供のようなわくわく感を覚えた74歳の自分がいたが、放課後子供教室を受け持っている身として、是非児童にも味わわせたい気持である。実験器具等の持ち運びの問題で、出張していただくことが困難であるとは伺っているが。</p> <p>○SSH 東海フェスタでの優秀賞受賞、お祝い申し上げます。</p> <p>○国立遺伝学研究所訪問も実施でき、着々と成果を上げている。</p> <p>○「清高探究メソッド」の完成が楽しみである。</p> <p>○SSHの取り組みは清水東高の特色であり、強みである。今後も深化させていってほしい。</p>
	SSH活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題研究を中心としたSSH活動は有意義である」と答える生徒の割合：80% ・不思議実験講座受講後、「理科がより好きになった」中学生の回答：3.5点（4点中） ・国立遺伝学研究所訪問（実施できない場合は代替行事）は有意義だった」と答える生徒の割合：80% 	A		
キ	欠席、遅刻、早退の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席数が過年度平均の8割以下となることを目指す ・「一年を通して、睡眠時間を平均6時間以上確保できた」と答える生徒の割合：70% 	B	A	<p>○新型コロナウイルス感染症が5類になる前の影響が、現在の欠席状況に反映していると聞いた。そんな中でも、メンタルを含めてコロナ前の日常を取り戻すための地道な指導がなされている。</p> <p>○学力向上はもちろんのことだが、これまで通り部活動を含めた体育活動にも力を入れ、清水東高の伝統である文武両道を継承して欲しい。</p> <p>○子供の数の減少から、子供グループ社会への参加、内部での軋轢等に慣れてこない高校生はじめ若年層にとって、いじめの問題にも通ずるが、校内でのグループエンカウンターは同世代だけかもしれないが、社会に出るための重要ないわば初期化のように思われる。それを通じて、その生徒個人への様々な価値観を入力できていくし、社会は様々な時空での人との出会いの場であるからである。</p> <p>○「皆勤」に絶対的な価値は無いことが知らしめられたのはコロナ禍の功罪の一つだと思う。必要な時には休む（登校しない）ことにも価値があることは保護者にも考えていただくことが必要か。</p> <p>○「学校生活に満足している」回答が91.2%とは素晴らしい成果だ。</p> <p>○本校の「文武両道」の伝統が脈々と受け継がれているのは誇らしい限りである。「部活動が楽しい・充実している」93.4%は顧問の先生の努力の賜物である。</p> <p>○部活動に満足している生徒が多く、学校生活が心身とも健康で充実していることが伺える。これも清水東高の魅力の一つと思う。</p>
	メンタル問題による不登校、転退学の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活に満足している」と答える生徒の割合：85% 	A		
	部活動の充実、成績の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会5部活、県大会10部活出場 ・「部活動が充実している」と答える生徒の割合：80% 	A		

様式第5号

ク	探究活動の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・文理選択やキャリア教育へと繋がる指導計画と評価法の立案を目指し、3年次の指導計画を完成する。 	A	A	<p>○進路指導に力を入れていることがよくわかった。大学進学を当面の目標としながらも、将来力強く生き抜いていくための基礎となるキャリア教育に期待する。生徒に対する「多くの手だて」と相反する「働き方改革」という難しい課題はあるが、これまで通り、生徒に具体的な将来をイメージさせる指導を大切にしてほしい。</p> <p>○平日実施の保護者会で参加者の低さが目立ったとあるが、今の日本社会での夫婦共稼ぎの多さ、また片親だけの家庭を考えると、それほど不思議なことでもないような気がする。子供も高校生くらいになると、親と子双方から距離をとっていきようなる。子供の数が少ないから、昔のようなことはないが、程度の差こそあれ、なかなか子供のために時間を割くことは大変な状況であるように思う。書面等で内容が伝わればそれでいいのではないだろうか。学校としてもそれをこれからの課題と捉えなくてもよいと思う。「進路実現に向けての1年間の自身の取組に満足している」と答える生徒の割合が億票知70%に対して56%とありこれも課題だとしているが、意欲の高さ、目標の高さの現れで、分析のとおり結構なことだと思う。目標を低く設定すればパーセンテージは上がるだろうが、本筋ではない。読書は時空を超えて、様々な価値の多用さを体得できることと、行間を想像することや、ディベートに関連すれば、相手の出してきた例えの意図を読み取る最善の方法であるように思う。教科の勉強の合間に、年間5冊以上の読書を行う生徒が70%というのは大変喜ばしいことである。</p> <p>○取組目標「ク」こそ、清水東への評価の重心項目だと思うが、基礎学力の定着・読解力の向上については高い目標に対しての大きな成果は、生徒・先生方のアンケート双方から読み取れ、頭の下がる思いである。一方、進路指導の面からは生徒への様々なアプローチに加え保護者への進路理解への働きかけなど、多くの労力を割いていただいている事をありがたく思った。</p> <p>○保護者面談の複数回実施など、手間がかかる活動に時間をかけていただきありがたく思う。</p> <p>○文理選択、大学進学先の選択、その先の職業のイメージを持つことは高校生には難しいとは思いますが、指導実績から学校側が可能な限りの意識付けを行っていることがわかる。感謝申し上げます。</p> <p>○プロフェッショナルと語る会は将来のイメージを持つという意味で非常に重要な活動だと思う。多大な労力を必要とする活動だと思うが、ますますの充実を願っている。</p> <p>○生徒が自分の進路を意識し、将来をデザインしていく力をつけるために、1年生の時から継続したキャリアノートの活用を更に充実させてほしい。</p>
	基礎学力の定着 (校内学力試験の利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の評価結果について分析をする。 ・テスト返却1週間後の個票返却 ・「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合：85% ・「指導のレベルに満足している」と答える生徒の割合：90% 	A		
	読解力をつける	<ul style="list-style-type: none"> ・「年間5冊以上の読書を行う」と答える生徒の割合：70% ・「生徒の読解力が伸びた」と答える教員の割合：70% 	A		
	個に合った適切な進路指導、進路面談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する保護者会を実施。目標参加率：80% ・オープンキャンパスへの2年次までの参加：90% ・「進路実現に向けての1年間の自身の取組に満足している」と答える生徒の割合：70% ・「新旧担任連絡会や校内進路検討会が進路指導に役立った」と答える教員の割合：80% ・「卒業生と語る会・予備校ガイダンスが進路指導に役立った」と答える生徒の割合：80% ・「進路講演会が生徒や保護者の進路理解に役立った」と答える教員の割合：80% ・「プロフェッショナルと語る会は有意義だった」と答える生徒の割合：80% ・「将来の進路について考えている」と答える生徒の割合：80% ・「東大訪問（実施できない場合は代替行事）は意義があった」と答える生徒の割合：75% 	A		
個の実力にあった文理選択（1年生）	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校で発行された『進路ノート』、『進学資料』、『合格体験記アプローチ』、『最新大学情報』は進路を考えるうえで参考になった」と答える生徒の割合：75% ・不本意な選択となる生徒を出さない指導を行う。 	A			

様式第5号

ケ	あいさつの励行	・「近所の人や知り合いにあいさつしている」と答える生徒の割合：90%	A	A	○あいさつやボランティアをはじめ、気持ちの良い行動ができる生徒が多いことが伺える。これからも県下有数の進学校としての誇りを持たせ、他の模範となる行動を指導して欲しいと思う。
	生徒会活動、ボランティア活動の充実	・「学校祭に満足した」と答える生徒の割合：80% ・各部活動で1回以上ボランティア活動を実施した割合：80%	B		○「近所の人や知り合いに挨拶している」生徒が90%とは、うれしいの一種の驚きを感じている。声を掛け合っの挨拶が一番いいと思うが、目礼であってもよい。大事なことは双方に挨拶の時間が共有されたかどうかである。「場に応じた挨拶」を高校生に求めるのは酷だと思う。年齢と共に、段々と身に付けて行けばよいと思う。
	研究旅行の充実	・「充実した研究旅行になった」と答える生徒の割合：80% ・海外研修旅行のプラン作成	A		○学校祭が実施でき、本当に良かったと思う。満足した生徒が9割以上であることで充実した活動であったとわかる。素晴らしい。 ○研究旅行が充実していたと回答した生徒が99%を超えるのは素晴らしいと思う。 ○場に応じた挨拶ができ、きちんとコミュニケーションがとれる人となるよう、指導を継続して欲しい。
コ	休暇取得促進日の設定	・休暇取得促進日に休暇を取得できる職員の割合が90%以上	A	A	○休暇取得促進にそって休暇を取得した職員の割合が、91.8%だということは業務内容からとても良いと思う。心身のいずれを問わず、休暇を上手に過ごしたのちには、精神的な栄養が蓄えられる。それは必ずや生徒に影響を与えるものだと思うし、生徒はその栄養を貰い成長する。
	業務の見直し、スクラップの推進	・印刷紙の使用量1割減を目指す。 ・19:30以降残留する職員が減少するように業務の割り振りを改善する。	A		○先生方の Work Life Balance が向上することが非常に重要だと思う。 ○教特法の改正をお祈り申し上げる。 ○ICT 機器の活用を今後も進めて、先生方の業務改善を着実に進めて欲しい。
サ	事務室運営の効率化	・1件以上の業務改善実施	B	B	○適切な事務処理を行っているとは思いますが、学校の外からは見えにくい部分なので、学校側のB評価を尊重した。
	法令順守の徹底	・物品（修繕）要求書提出の徹底とすみやかな会計処理を行う。 ・学年費等の決算報告書類等は、わかりやすい文書の作成に努め、残金等は迅速な返金処理等を行う。 ・個人情報の適正な保管により紛失及び漏洩事故ゼロ	B		○校内の会計処理において、事業仕分けの適正化、学校徴収金の適正処理がなされているとのことであるので、経済状況の変化による追徴、返却は至極当たり前のことで、費用対効果も考えられておられるようなので、自らB評価を下すほどのことでもないのではないか。解体工事後の跡地利用、県立高である以上希望通りにはなかなかいかないであろうことは想像に難くない。ただ、グラウンドの砂塵飛翔の抑制のために、スプリンクラーの増設はお願いしたい。
	安全安心な教育環境の維持	・月2回以上の施設点検と法令点検指摘箇所のすみやかな改修を行う。 ・解体工事にかかる騒音等の対応について、的確な校内調整を図る。	B		○目標が達成できているのであればA評価とすべきだと思う。 ○特に事務の効率化が進んでいる様子が見て取れる。今後も省力化すべき所は省力化・廃止を進めてほしい。 ○工事が継続しており、動線の変更や騒音への対処などご苦労が続くが、安全を第一にご対応をお願いしたい。 ○校舎解体に伴う工事が進む中で、安心安全な校内環境が維持されており、感謝申し上げます。